

研究タイトル：

## (日英語)比較言語学



氏名： 有坂 顕二 / ARISAKA Kenji E-mail: arisaka@oyama-ct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 教育学修士

所属学会・協会： 日本言語学会、日本語文法学会、筑波英語教育学会、筑波英語学会

キーワード： 生成文法、ミニマリストプログラム、第一言語／母語、言語比較

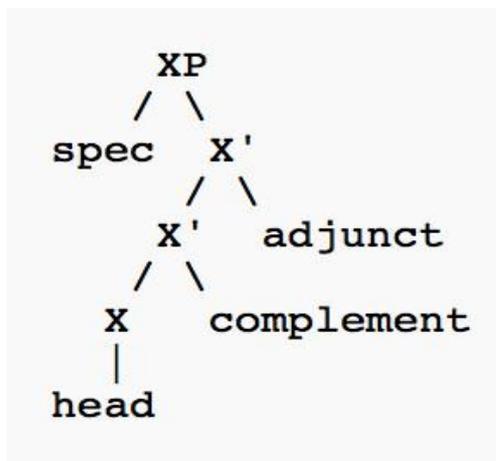
技術相談  
提供可能技術： ◎以下の場合にお手伝いができるかと思えます。  
・下記の問題設定に共感され、それに関する文献を読まれる場合  
・英語の学び直しをしたいと思われた場合

### 研究内容：

▷ 「なぜ人間は、断片的で不完全であり、系統立ってもない言語データのインプットのみで、複雑な第一言語／母語の知識(＝文法規則体系)を、5、6歳という早期に獲得できるのか」という設定問題に対し、我々の母語である日本語(のデータ)と各言語(のそれ)を共時的に比較することで、その解明と、それが依って立つ理論の構築に何らか貢献していきたいと考えている(ここでいう「文法」は、いわゆる「学校」文法とは全く異なる)。

▷ 現在は、(1) 疑問詞を含む修辭疑問文(例:「誰が(そんなこと)わかるというの」)を語用論の立場から分析している。更には(2) 日本語の「～の(は)ない」構文(例: 太郎がこの絵を描いたのではない)の構造についても考察している。

<生成文法で仮定する、英語など、主要部先導型(head-first)言語の句構造>



(<https://www.flickr.com/photos/queerdood/4087853415>)

researchmap: <https://researchmap.jp/read0183063>

研究紀要: [https://www.oyama-ct.ac.jp/tosyo/researcher/019\\_arisaka\\_kenji.html](https://www.oyama-ct.ac.jp/tosyo/researcher/019_arisaka_kenji.html)

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	